



RUGBY FOOTBALL on SHIZUOKA

日本の、静岡の誇り。 五郎丸歩 Ayumu GOROMARU

歴史を変えた激戦を終えて

015年ラグビーウ杯イングラン
ド大会、桜の勇者たちは、初戦で、国
際ラグビー界の強豪中の強豪、南アフリ
カを倒す。世界中が「奇跡」という言葉で
しか表現できなかつた、スポーツ史上例
を見ないジャイアンツクリシングを、五郎
丸は「ラグビーに奇跡はありません。必
然です」と表現した。W杯イングランド
大会全試合フル出場。マン・オブ・ザ・
マッチ2度、4試合で1トライ、7ゴー
ル、13PG、合計58得点を記録し、日本
歴代最多得点を更新。ベストファイフ
ティーンにも選出された。

仏敵に立ち向かう「王像」のような体

船精悍か、端正な顔立ち、メティアから
の質問にひとつひとつ丁寧に答える
真摯な態度と知性を感じさせる内容。は
しゃがない、うぬぼれない、するをしな
い、いばらない、へりくだらない。日本人
としてのプライドが持ちにくい世の中
にあって、人々は五郎丸に、誇り高
き「一ツボン男子」のあるべき姿を重ね
るのだろう。今やその注目度は、政治家
や芸能人をはるかに上回る「日本ラグ
ビーを背負った男」は、その使命を自ら
に課し、さまざまなかつてアヘへの登場を
厭わず、ラグビーの魅力を語る。

2012年4月にスタートしたエ
ディージャパンで過ごした「精神的にも
肉体的にもきつかった」という3年半。
とくにW杯本番を控えたこの春からは
162日というハードな合宿にも耐え
抜いた。エディージャHCでさえ、20年間の
コーチ人生でこれ以上のハードワーク

はないと言いつけるほどの過酷さ 朝4時からのヘッドスタート。高強度のトレーニングを重ね、睡眠、食事に至るまで徹底管理された生活。かつて想像したことのないレベルの経験を前にしても、「2015年W杯ベスト8、2019年W杯日本大会へつなげる」という明確かつ大目標があつたから、そして信頼できる仲間たちがいたから、耐え抜くこと

—やつてみたいなと思つてゐる子供たちの背中を押す方法はありますか？

背中を押すよりも、僕たちのプレーを見て、「やつてみたいな」と思つてもらえるのが一番よい方法ではないでしようか？トップリーグや大学ラグビーなど、もつとテレビなどで気軽に見ることができる環境になるといいなと思いますね。

「背番号15」
フルバックというポジション

月1日、ブライ顿のスタジアムで世界一の輝きを放ちながら解放された。

■

—W杯の激戦を終え、その経験をチー
ムに還元するという考えは？

還元するというよりも、自分がヤマ
ハのスタイルを理解し、そこに対しても
全力で取り組む姿勢を若い選手に感じ
取ってほしい、という感じですね。どの
チームに所属するにせよ、そのチームの
スタイル、方針をしっかりと理解し、自分
の役目を果たす。ここが大切だと思って
います。

ラグビーにおけるフルバックというポジションは、チームの最後尾に位置し、つねに戦況に応じた最良の判断と決断を下し続けながら指示を出す。そして味方ゴールを目指して襲いかかる敵の攻撃を食い止める最後の砦でもある。『後ろに五郎丸がいてくれる』——五郎丸の存在は、前線で戦う仲間たちに大きな勇気と安心感を与える。

しかし優秀なフルバックだけではラグビーで勝つことはできない。日本の、そしてヤマハの「背番号15」を背負う五郎丸は、いつでも「チームが……」という主語を用い、ラグビーの本質を語る。

—W杯に行く前とずいぶん違った環境になつてゐるかと思います。

10

で、まずは世界のメディアからの注目度が変わりました。次に日本国内。世界で通用したことが、多くの日本メディアか

—清宮克幸監督が、五郎丸選手がいることによって、チームの安定感が格段に

ら賞賛され、テレビや新聞、インターネットなどの様々な媒体を通して、多くの国内の人々にラグビーというスポーツを知つていただくきっかけになつた

ルバッカ）に必要なスキル、メンタリティ、ファジカル、性格などを教えてください。